

# 令和5年度活動報告



令和5年9月 札幌市立定山溪中学校森林教室

林野庁 北海道森林管理局

石狩地域森林ふれあい推進センター

全国の森林面積の3割を占める国有林を管轄している林野庁では、全国に9箇所（北海道森林管理局管内に4箇所）の森林ふれあい推進センターを設置し、それぞれの地域の特色を活かし、国有林野を活用してNPO団体等が行う自然再生活動や生物の多様性の保全活動、学校等が行う森林環境教育等に対して、技術的な指導や情報の提供等の支援を行っています。

## 石狩地域森林ふれあい推進センターの活動区域



石狩地域森林ふれあい推進センターは、豊富な森林資源と多様な森林景観に恵まれた山岳林等にある定山溪国有林と都市近郊の丘陵森林である野幌国有林を主たるフィールドとして、様々な活動を行っています。

定山溪国有林では、札幌市の「水源の森」である豊平川源流部において、苗木の植栽から保育作業等を市民・ボランティア団体等と一緒に取り組んでいます。また、森林環境学習の場として、札幌市立定山溪小学校・中学校と定山溪の森林をフィールドにした植林活動や環境保全活動等に取り組んでいます。

野幌国有林では、平成16年9月に発生した台風により、約77haにおよぶ風倒被害を受けた野幌森林公園において、森林再生に向けた取り組みを行っています。

また、様々な機関等からの要請に応じて支援活動等を行っています。

# 定山溪国有林での取り組み

## 札幌水源の森づくり

豊平川源流部に位置する定山溪国有林は、札幌市の「水源の森」として、札幌市民約 197 万人の生活を支える水道水の源として、おいしい水を育む重要な役割を果たしています。

平成 16 年から取り組んでいる「札幌水源の森づくり」では、札幌市内中心部で一般参加者にポット苗木を作製してもらい、「水源の森」への植栽はボランティア団体・協力機関で行って来ました。

### 令和 5 年 7 月 5 日(水) 水源の森の下刈り作業

これまで「札幌水源の森づくり」に参加された皆さんで作製した苗木は、「水源の森」(定山溪ダム上流の国有林)に植栽してきました。

今年度の下刈りは、当センターの職員で実施しました。



[下刈り作業の様子]



[下刈り後の苗木の様子]

### 令和 5 年 8 月 26 日(土) 「札幌水源の森づくり 2023」

札幌市創成川公園・狸二条広場において、札幌市と共催でボランティア団体等の協力を得て開催しました。

天気にも恵まれ、30 度を超える暑さの中、多くの方々の来場があり、再生ダンボールで出来た「カミネッコン」を活用したポット苗木(トドマツ、ミズナラ、ヤチダモ)を 200 個作製しました。



[会場内の様子]



[イベント参加者と記念撮影]



[メッセージが書かれた苗木]

## 令和5年9月28日(木) 水源の森に苗木を植栽

8月26日に札幌市内中心部で開催した「札幌水源の森づくり2023」に参加した皆さんが作製したポット苗木を定山溪にある水源の森に植栽しました

当日は小雨が降る天気でしたが、「札幌水源の森づくり2023」イベントのボランティアスタッフ、協力機関機関の方々に全ての苗木を植栽することができました。



[植栽箇所の植穴堀]



[苗木運び]



[苗木の植栽]



[作業の様子]

## 地域のもりから学ぶ森林づくり

地域に根ざした取り組みとして、札幌市立定山溪小学校・中学校と「地域のもりから学ぶ森林づくり」を定山溪国有林で実施しました。

近隣の自然をフィールドとして、定山溪小学校（5・6年生）、中学校（全学年）を対象に森林教室を開催しました。

また、中学校では、今年度の活動内容等を地域の皆さんに紹介する「森づくり活動発表会」開催しました、

### 令和5年5月11日(木) 第1回森林教室「身近な自然を観察しよう・保護しよう」

定山溪中学校が保護活動をしている三笠緑地において、中学校と小学校（5・6年生）の合同で、植生の開花調査を実施しました。この植生調査は環境保全活動の一環として、平成25年から継続して実施しています。また、調査終了後、中学生は環境保全活動の看板を設置しました。



[センター職員から調査方法を説明]



[植生調査の様子]



[調査の様子をドローンから空撮]



[中学生による看板設置]

## 令和5年6月27日(火) 第2回森林教室 森の中で新発見！森の生きもの観察・森の循環

小学校5・6年生を対象にした森林教室を小学校から歩いて10分ほどの定山溪国有林で開催しました。

森林の中を歩きながら見つけたエゾハルゼミの抜け殻、クマゲラの採餌跡、エゾシカの食痕やキノコなどの観察と倒木に芽生えたトドマツの幼樹や腐朽菌により腐朽が進む大木、倒木更新に至る環境の様子を職員の説明を受けながら観察しました。

また、山で採取した木の葉は学校に持ち帰りパウチ加工して標本作りをしました。



[職員による説明の様子]



[腐朽して朽ち果てた樹木を観察]



[採取した木の葉]



[パウチ作りの様子]

## 令和5年7月19日(水) 第3回森林教室「夢の森」づくり活動区域で森林づくり体験

中学校が森林教育の活動の場としている「夢の森」を整備しました。

天候に恵まれ、植栽箇所の草刈り、広場や遊歩道の不要な樹木の伐採を実施した後、カミネッコンを用いてポット苗の作製と植栽を実施しました。



[作業開始]



[カミネッコに苗木を植栽]



[今年度も生徒作製のベンチを設置]



[苗木の植栽箇所]

### 令和5年9月8日(金) 第4回森林教室「夢の森」づくり活動区域で森林づくり体験

今年度2回目となる「夢の森」の整備を行いました。

快晴の中、日時計の補修、樹名板の設置、巣箱の設置、ヤナギの挿し木、シイタケほだ木の観察、さらに生徒達の要望を踏まえた夢の森ブランコの設置等を実施しました。



[樹名板の設置]



[巣箱の設置]



[ヤナギ挿し木説明]



[夢の森ブランコの設置]

## 令和5年12月21日(木) 「森づくり活動発表会」

定山溪中学生が、環境学習、森林保全、自然とのふれあい・観察等の活動を紹介する「森づくり活動発表会」を定山溪中学校で開催しました。

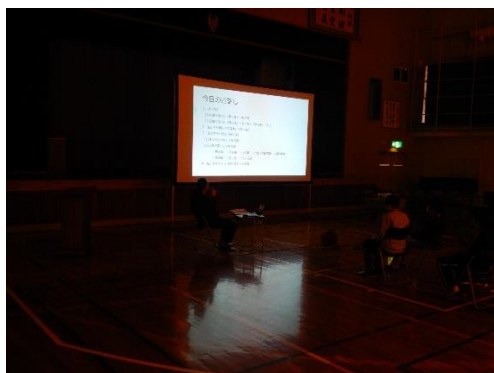
定山溪中学校からは「Let's grow with the forest.」と題して、今年度の「夢の森」での活動内容等を報告しました。



[中学生の発表の様子]



当センターからは「『夢の森』の生き物たちと今後の『夢の森』づくりに向けて」と題して、『夢の森』に生息している生き物たちを紹介しながら、『夢の森』での今後の活動方向と将来像について提起した後、今年度は『夢の森』の将来像を考える」をテーマにした生徒全員でのフリーディスカッションを行いました。



[センターの発表の様子]





フリーディスカッションでは、中学生から「花がある華やかな『夢の森』にしたい」、木を使った休憩施設を設置したい、「桜の木などを植えて、人が集まる場所にしたい」など、「夢の森」の活用等についての意見が出されていました。



〔フリーディスカッションの様子〕

### 令和6年2月29日(木) 第5回森林教室

定山溪中学校からの要望を受け、中学1・2年生を対象にした冬季の森林教室を「夢の森」で実施しました。

スノーシューをはいて、「樹木の冬芽観察」や「動物の痕跡探し」をしながら「夢の森」を一周、その後「積雪断面観察」と「野鳥観察」を実施しました。



〔樹木観察の様子〕



〔積雪断面の様子〕

野鳥観察では、“ハシブトガラ”がすぐ目の前で餌をついばむ様子に見入っていました。



〔野鳥観察の様子〕



〔生徒撮影“ハシブトガラ”の写真〕

## 野幌国有林での取り組み

### 野幌森林公園における野幌森林再生プロジェクト

平成 16 年 9 月の台風 18 号により、被害を受けた野幌の森林を「100 年前の原始性が感じられる自然林」を目指した森林づくり「野幌森林再生プロジェクト」を策定し、平成 17 年度から各種取り組みを実施しています。ここでは、野幌の豊かな自然のすばらしさ、森林に関する理解の醸成等、NPO 団体等と協働による森林づくりに取り組んでいます。



[平成 16 年 9 月に発生した台風 18 号の被害直後]

また、本プロジェクトのほか、平成 30 年 9 月に発生した台風 20 号による風倒被害箇所の一部を利用して、新たな森林再生に向けた取り組みを令和 4 年度からスタートしました。



[平成 30 年台風直後の被害状況]



[風倒木の処理痕の状況 (R4. 5. 31 ドローンで撮影)]

### 団体型の森林づくり

石狩森林管理署と「団体型森林づくり」協定を締結している NPO 団体、大学、企業等が風倒被害跡地に植栽し、その後の保育や生長調査等を継続的に取り組んでいます。

併せて、平成 30 年に発生した台風被害箇所においても同様の協定を NPO 団体等と締結し、被害跡地の森林再生に取り組んでいます。

当センターでは、NPO 団体等に対して、現地での技術指導等の支援を行っています。

## 野幌森林づくり塾

野幌森林づくり塾は、平成 16 年の台風被害にあった野幌森林公園の自然再生プロジェクトの一環として、植栽等の森林づくりを体験しながら森林づくりに関する知識を習得し、将来的には自主的なボランティア活動の展開につながることを期待した取り組みです。

今年度は、16 名の応募があり、3 回の森林環境教育プログラムを実施しました。

### 令和 5 年 5 月 17 日(水) 第 1 回「森林と水について」

第 1 回目の森林づくり塾は、「森林と水について」と題して、森林と水の関わりを北海道森林管理局内会議室において当センター職員から座学を行った後、午後から札幌市水道記念館に移動し、森から水道水が届くまでの流れを学びました。



[当センター職員による座学の様子]



[札幌市水道記念館（藻岩浄水場）見学の様子]

### 令和 5 年 6 月 22 日(木) 第 2 回「外来種駆除！（オオハンゴンソウ）」

北海道ボランティア・レンジャー協議会との協働事業として、特定外来生物であるオオハンゴンソウの除去を参加者 31 名（野幌森林づくり塾生 10 名）で実施しました。

天候にも恵まれ暖かな日差しの中で気持ちの良い汗を流しての作業になりました。



[オオハンゴンソウの抜き取りの様子]



[根の切り取り様子]

## 令和5年10月10日(火) 第3回「きのこの生態と豆知識」

9月14日に野幌森林公園で植栽体験を予定していましたが、公園内でヒグマの目撃情報等があり入林自粛が要請されていたことから、開催内容等を変更し、10月10日北海道森林管理局内ウッドイーホールで開催の「藻岩山きのこ観察会」によるきのこ展示・観察会の見学を行いました。

前段、当センター職員より「きのこの生態と豆知識」と題した講話を行い、その後、きのこ展示・鑑定会を見学しました。



〔当センター職員による座学の様子〕



〔「藻岩山きのこ観察会」中田代表から説明の様子〕



〔第1回〕



〔第2回〕



〔第3回〕

## 令和6年2月21日(水) 令和5年度 野幌森林再生活動連絡会

石狩森林管理署と「団体型森林づくり」協定を締結しているNPO団体等、オブザーバーとして野幌森林公園を管理している北海道博物館、公園内の道有林の管理等を担当している空知総合振興局森林室、石狩振興局産業振興部林務課、フィールドを管理する石狩森林管理署が出席して活動連絡会を北海道森林管理局で開催しました。

事務局より各団体の活動実績及び次年度の活動計画等の報告、出席団体からの情報提供がありました。

また、森林再生活動に関する意見交換では、酪農学園大学からは学生も参加できるような日程設定等の要望、野幌森クラブからはエゾシカやウサギによる食害状況等について意見が出されました。



[連絡会の様子]



[出席された各構成団体の皆様]

## 新たな森林再生に向けた取り組み

平成 30 年に発生した野幌森林公園の台風被害跡地の森林再生に向け「社会貢献の森における森林整備活動の協定」に基づき取り組みを進めることとしています。

### 令和 5 年 7 月 4 日(火) 認定 N P O 法人シーズネット

認定 N P O 法人シーズネットは、野幌森林公園の台風被害跡地の森林再生に向けた取り組みを毎年実施しており、令和 4 年度から被害箇所（協定箇所）の植栽を始めてきました。

今回、その植栽箇所の下刈りを会員 13 名で実施しました。



[下刈作業の様子]

なお、秋に予定していた 2 年目の植栽は、野幌森林公園内でヒグマの目撃情報があったため、中止になりました。

## 【取組一覧】

### 1 札幌水源の森づくり

年月日	内 容	参加者	場 所
2023/ 7/ 5	「水源の森」下刈り作業	(職員実行)	定山溪国有林
2023/ 8/26	「札幌水源の森づくり 2023」	一般市民	札幌市創成川公園・狸2条広場
2023/ 9/28	「水源の森」植栽作業	札幌市、森林研究・整備機構	定山溪国有林

### 2 地域のもりから学ぶ森林づくり

年月日	内 容	参加者	場 所
2023/ 5/11	第1回森林教室 「身近な自然を観察しよう・保護しよう」	定山溪小学校(5・6年生)・中学校	定山溪国有林(三笠緑地)
2023/ 6/14	第2回森林教室 「森の中で新発見！」	定山溪小学校(5・6年生)	定山溪国有林 定山溪小学校
2023/ 7/14	第3回森林教室 「夢の森」の整備等 草刈り、ポット苗の作製と植栽	定山溪中学校	定山溪国有林(夢の森)
2023/ 9/ 8	第4回森林教室 「夢の森」の整備等 巣箱の設置、樹名板設置、日時計の補修、夢の森ブランコの設置・試乗	定山溪中学校	定山溪国有林(夢の森)

年月日	内 容	参 加 者	場 所
2023/12/21	「森づくり活動発表会」	定山溪小学校 定山溪中学校	定山溪中学校
2024/ 2/29	第5回森林教室 スノーシュー体験、動物の痕跡探し、樹木の冬芽観察、野鳥観察、積雪断面観察	定山溪中学校 (1・2年生)	定山溪国有林 (夢の森)

### 3 野幌森林公園における野幌森林再生プロジェクト

年月日	内 容	参 加 者	場 所
2023/ 5/17	野幌森林づくり塾 2023 第1回 「森林と水について」	塾生：10名	北海道森林管理局 札幌市水道記念館
2023/ 6/22	野幌森林づくり塾 2023 第2回 「外来種除去！（オオハンゴンソウ）」	塾生：10名 (総参加者数31名)	野幌国有林
2023/10/10	野幌森林づくり塾 2023 第3回 「きのこの生態と豆知識」	塾生：10名	北海道森林管理局
2024/ 2/21	野幌森林再生活動連絡会	各構成団体等 北海道博物館 空知総合振興局 石狩振興局 石狩森林管理署	北海道森林管理局

※ 上記のほか「団体型森林づくり」として、協力団体による森林づくりが行われています。

## 【職場体験プログラム（インターンシップ）】

北海道森林管理局では、学生の就業意識を育成するとともに、国有林野事業及び林野行政に対する理解を深めてもらう；ことを目的として、職場体験プログラム（インターンシップ）を実施しています。

今年度、8月(8/24～26)に7名（酪農学園大学1名、札幌工科専門学校6名）、9月(9/12～14)に1名（横浜市立大学）を局、石狩森林管理署、当センターで受け入れ、幅広い分野での業務体験を実施しました。



[8月に実施した酪農学園大学生と札幌工科専門学校生の様子]

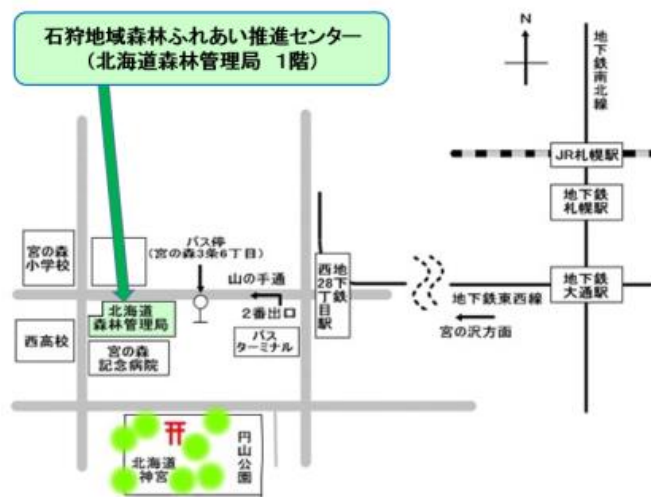


[9月に実施した横浜市立大学生の様子]



---

## 案内図



---

お問い合わせはこちらまで

### 林野庁 北海道森林管理局 石狩地域森林ふれあい推進センター

〒064-8537 札幌市中央区宮の森3条7丁目70番

TEL 011-622-5114

ホームページ [http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/isikari\\_fc/](http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/isikari_fc/)

E-mail [h\\_ishikari\\_f@maff.go.jp](mailto:h_ishikari_f@maff.go.jp)